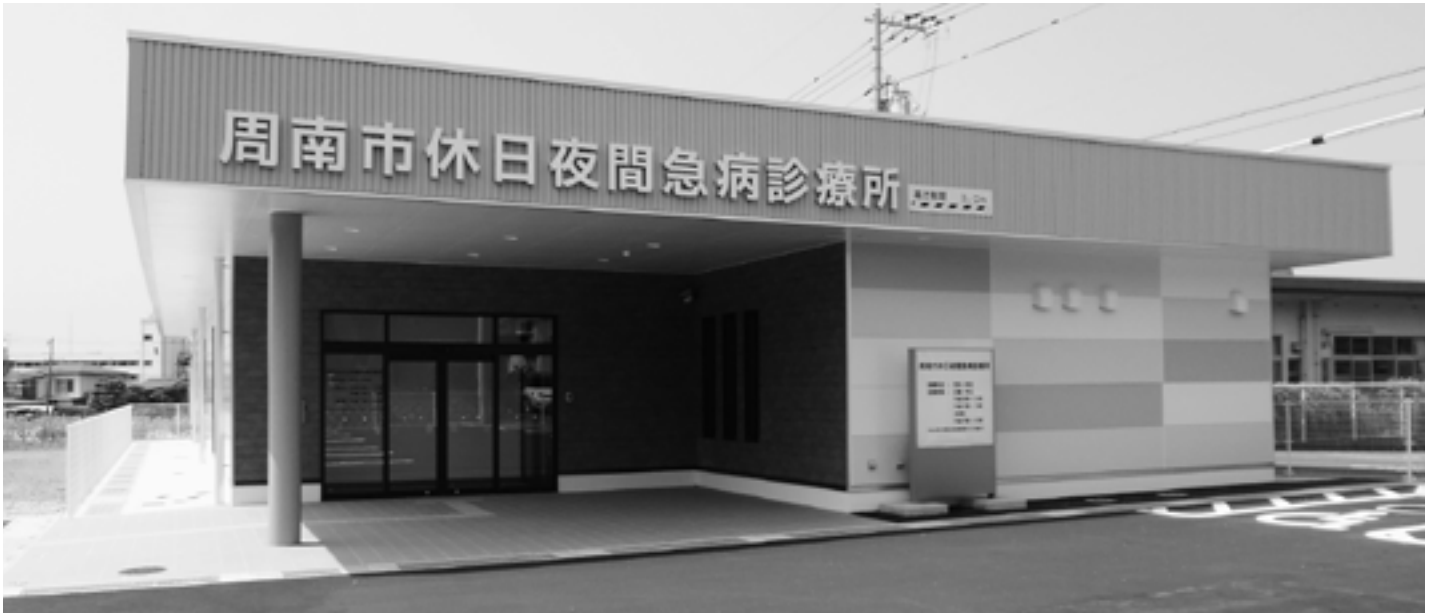


※今号から、英数字も見やすい左開き・横書きになりました。



## 周南市休日夜間急病診療所が 瀬戸見町へ移転！



休日夜間



移転先：瀬戸見町9-25

10月1日に慶万町から瀬戸見町へ移転開業しました。

徳山中央病院の近くに立地することから、二次救急との連携が取りやすくなり、一次救急を必要とする患者が安心して受診できる体制が確立されました！

### TOPICS

- ・臨時会・定例会の概要 ——— 2
- ・議案の議決結果 ——— 5
- ・一般質問 ——— 6
- ・徳山大学に関する議案を可決 — 12
- ・行政報告の概要 ——— 13
- ・委員会レポート ——— 14



# 臨時会・定例会の概要

第5回臨時会を8月5日・6日の2日間開催し、新型コロナウイルス対策費の補正予算等の議案の審議をしました。  
第6回臨時会を8月17日・18日の2日間開催し、徳山大学の公立化にかかる議案等の審議をしました。(審議の概要を12ページに掲載しています)  
第7回定例会を8月31日から9月17日までの18日間開催し、一般会計補正予算、条例の一部改正等の市長提出議案28件、議員提出議案1件を審議しました。

可決  
(賛成多数)

## 周南市公立大学法人 評価委員会条例制定について

9月定例会

本議案は、地方独立行政法人法の規定により、設立団体の長の附属機関として地方独立行政法人評価委員会を設置するものです。

### 企画総務委員会での審査

- 問 委員の任期を2年とした理由は。
- 答 他の多くの附属機関の任期を参考に2年とした。再任も可能であり、中期目標の期間や学長の任期を踏まえて検討したい。
- 問 可決された場合、どのようなスケジュールで進めるのか。
- 答 可決されれば、すぐに本評価委員会を設置したいと考えている。中期目標等の意見を頂くため、複数回の開催を予定している。
- 問 中期目標は誰がつくり、評価委員会はどの時点で関わるのか。
- 答 中期目標は市が作成し、議会の議決を経る前に、評価委員会に意見を聞くことになる。

### 委員会での討論

#### 賛成討論

・周南公立大学の公立化議案は既に可決されており、評価委員会の設置は法で定められている。十分内容の審査を行ったことを申し上げ賛成する。

#### 反対討論

・下松市・光市も含めた広域による公立化検討の必要性和市民により条例制定を求める活動が行われていることから、4月1日の開学は時期尚早であり、評価委員会も今の時期に決定すべきではない。

委員会審査結果 賛成多数で可決

### 本会議での討論

賛成・反対の立場から討論がありました。



可決  
(全会一致)

## 介護老人保健施設ゆめ風車の 訪問リハビリテーション事業開始

9月定例会

本議案は、介護老人保健施設ゆめ風車で実施するサービスに訪問リハビリテーション事業及び介護予防訪問リハビリテーション事業を追加することに伴い、所要の条例改正をするものです。

### 教育福祉委員会での審査

- 問 事業を導入する理由は。
- 答 一つは、訪問リハビリテーション事業により、住み慣れた生活の場でのリハビリができるなど、きめ細かな支援が可能となり、サービスの充実を図れること。

もう一つは、訪問する理学療法士、作業療法士は、これまでの人員体制で対応することから、収益の確保が図れるという点である。

問 対象者は、介護老人保健施設ゆめ風車の利用者に限られるのか。併設されている新南陽市民病院の患者も対象となるのか。

答 新南陽市民病院の患者も含め、要支援を含む要介護認定を受けている方が対象となる。

問 サービスを受けられる地域の対象範囲はどこまでか。

答 1回の訪問でリハビリに要する時間が約40分かかり、リハビリも含めて往復1時間程度で行える地域を考えている。目安としては、現在、通所リハビリテーションで西は湯野、北は和田、東は徳山中央病院周辺に居住されている方が通われているので、その範囲までを考えている。



介護老人保健施設ゆめ風車

### 委員会での討論

#### 賛成討論

・介護老人保健施設は、在宅復帰が目的の施設であり、そのためにリハビリというツールを使って、個々の利用者の身体機能を向上させる。今までなら通所それから入所のためのリハビリ対応だったが、今回訪問リハビリテーションを立ち上げることで在宅と通所、それから入所という全てのステージをリハビリの連鎖で結ぶことができ、大きなメリットがあると思っており、訪問リハビリテーションの活躍には大いに期待することから賛成する。

委員会審査結果 全会一致で可決

可決  
(全会一致)

## 休日夜間急病診療所の移転

9月定例会

本議案は、慶万町に開設している休日夜間急病診療所を令和3年10月1日から、瀬戸見町に移転し、供用を開始することに伴い、所要の条例改正をするものです。

### 教育福祉委員会での審査

- 問 慶万町の跡地はどのようになるのか。
- 答 現在、跡地利用の計画はない。

委員会審査結果 全会一致で可決

可決  
(全会一致)

## 玖西環境衛生組合の 解散について

9月定例会

本議案は、令和4年3月31日限りで玖西環境衛生組合を解散すること及びそれに伴う財産処分と事務の承継について岩国市と協議をするための議案3件の議決を求めるものです。

これらの議案は関連することから、一括して質疑を行いました。

### 環境建設委員会での審査

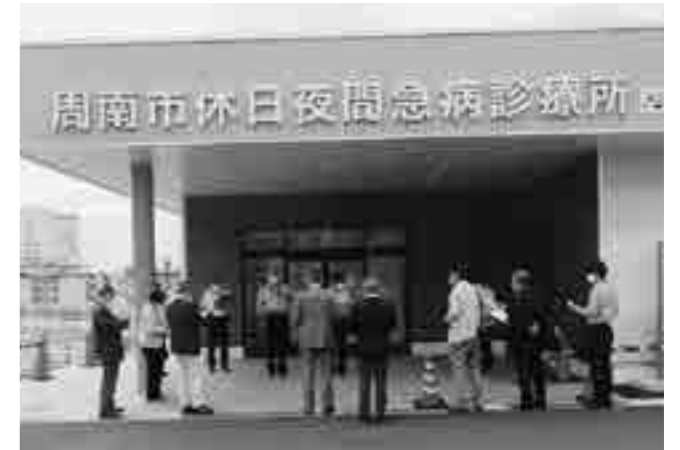
問 組合の解散後に財産処分として、周南市が引き取るようになっていく樋口の熊毛旧し尿処理施設跡地の活用方法は決まっているのか。

答 元々建物があった約3,000㎡の敷地と、その周辺の山林とがあるが、山林の部分については現状では活用は難しいと考えている。建物があつた敷地についても、何らかの活用ができるのではないかと考えているが、現在、行政財産としての活用計画はないので、普通財産として所管課に引き継ぎ、今後活用について検討していくことになる。

問 真水苑解体のための積立て基金の現在の積立額は。

答 現在、約1億2,400万円を積み立てており、施設の利用が終わる令和9年度末までの積立額は約2億6,400万円となる予定である。

委員会審査結果 いずれも全会一致で可決



教育福祉委員会現地視察

可決  
(全会一致)

## 一般会計補正予算 小規模企業者等事業 継続支援金等の増額補正

9月定例会

本議案は、令和3年6月定例会において議決された保証付制度融資保証料補給費補助金及び新型コロナウイルス感染症対応事業継続資金利子補給費補助金並びに6月28日に専決処分により補正を行った小規模企業者等事業継続支援金について、予算の不足が見込まれるため、3億8,400万円の増額を計上するものです。

### 予算決算委員会での審査

問 支援金等の申請の受付は終了しているのか。また、今後さらに補正することが見込まれるのか。

答 小規模企業者等事業継続支援金については、650件分の予算計上であった。本年8月31日で受付が終了し、1,215件の申請を受けたことから、不足する565件分を増額補正するものである。保証付制度融資保証料補給費補助金及び新型コロナウイルス感染症対応事業継続資金利子補給費補助金については、令和4年3月31日の融資実行分までが申請対象となり、これまでの申請状況等を基にこのたびの補正予算を計上しているが、今後の申請状況によっては予算が不足する可能性はある。

委員会審査結果 全会一致で可決



# 臨時会・定例会の概要

可決  
(全会一致)

## 病院事業会計決算の認定

9月定例会

### 予算決算委員会での審査

問 令和2年度の純利益の主な要因は、感染症対策等に伴う県からの補助金である。今後継続される補助金ではないが、このような補助金に頼ることなく、来年度以降も内部留保ができる体制になっているか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響がなかった場合の損益計算は非常に難しいが、令和2年度は収益改善策として、常勤医の1名増員と急性期入院医療包括支払い制度であるDPC病院へ移行したことに伴い収益が増加した。また、職員に対して収益改善に向けたヒアリングを行い、収益向上に向けた意識改革に取り組んでいる。さらには、入院患者の受入れを強化し、コロナ禍にあっても、救急患者の受入患者数が1.6%増加するなど、これらの取組により、決算において黒字に転じるとともに内部留保資金も増加した。安定した経営を継続するために、引き続き経営改善を進めていきたい。

問 医療会社の看護職員の雇用形態別の内訳は。

答 令和2年度末で、正規の看護職員は98名、臨時雇用の看護職員は12名である。

問 臨時雇用の看護職員に対する期末手当は、市の会計年度任用職員と同程度の基準で支給されているのか。

答 医療会社の規定により支給されており、市に合わせた形で支給されている。

問 健康診断数は前年度比がほぼ一定だが、特定の企業の受診によるものか。

答 企業も健診をされているが、令和元年度より全国健康保険協会の受入れを開始した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で人間ドック等の健診数が減少したため、前年度比がほぼ同数となっている。

委員会審査結果 全会一致で認定

## 令和2年度一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定

11月臨時会

9月定例会で上程され、閉会中に審査を行ったものです。審査の結果、予算決算委員会としての意見を付し、賛成多数で認定しました。付した意見は次のとおりです。

### 予算決算委員会として付す意見（抜粋）

#### ◆一般会計

##### 【中山間地域移住促進事業費】

個人の移住促進だけでなく、起業支援やサテライトオフィス等の誘致ができれば大きな成果となる。特に最新のインターネット通信環境の整備等を充実させ、多様な働き方を求める企業や個人へ本市独自の取組を提案、PRをして移住促進を図るべきである。

##### 【コミュニティ交通運行事業費】

コミュニティ交通のニーズについては、中山間地域だけでなく、都市部にも存在する。市全体の問題としてバスがない地域の生活交通の対策に取り組むべきである。

##### 【子ども家庭総合支援拠点事業費】

令和2年度からあんしん子育て室が新設されたことにより、庁内の連携や関係機関との連絡体制や子供・子育て家庭の相談支援体制が強化された。今後は当事者を含め誰もが相談しやすいように、分かりやすい広報に取り組み、児童虐待相談などでは、より迅速な対応に努めるべきである。

##### 【防災対策費】

##### 【自主防災組織育成事業費】

自主防災組織の活動には地域で取組に差があるが、実際に市民が避難をするような事態が起きたとき、各地域の組織がどのような活動をしたのかは重要な情報である。各地域の自主防災組織での活動を参考にして市内全域の防災力を高めていくべきである。また、研修や訓練等を重ね、防災対策が停滞しないようにすべきである。

### 議案の議決結果

#### || 賛成多数で可決 ||

##### 条例改正など

##### 《条例の制定》

・周南市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例制定について

#### 議会への報告

議会報告：例月現金出納検査の結果（2件）、定期監査結果

### 議案の議決結果

#### || 賛成多数で可決 ||

##### 条例改正など

##### 《条例の制定》

・周南公立大学整備等基金条例

##### 《その他》

・公立大学法人周南公立大学定款の制定、負担付きの寄附を受けること、財産の出資

### 議案等の議決結果

#### || 賛成多数で可決 ||

##### 補正予算

・一般会計補正予算（第10号）

#### || 全会一致で可決 ||

##### 補正予算

・一般会計補正予算（第9号）、国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）、介護保険特別会計補正予算（第1号）、地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）、駐車場事業特別会計補正予算（第1号）、一般会計補正予算（第11号）

##### 令和2年度決算認定関係

##### 《決算の認定》

・水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計、介護老人保健施設事業会計、モーターボート競走事業会計

##### 《剰余金の処分》

・水道事業会計、下水道事業会計、モーターボート競走事業会計

#### 議会への報告

書類提出：出資法人の決算（ふるさと振興財団、文化振興財団、かの高原開発、医療公社、周南地域地場産業振興センター、徳山青果精算株式会社、徳山地区漁業振興基金、新南陽地区漁業振興基金）  
報告：令和2年度水道事業会計継続費精算報告書、令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について  
議会報告：令和2年度非強制徴収債権の債権放棄に関する資料の提出について（2件）、例月現金出納検査の結果  
行政報告：国家賠償法に基づく公文書開示に係る損害賠償請求訴訟の判決への対応について

## 8月臨時会（第5回）

#### || 全会一致で可決 ||

##### 補正予算

・一般会計補正予算（第7号）についての専決処分、一般会計補正予算（第8号）

##### 条例改正など

##### 《その他》

・工事請負契約の締結について（周南第1住宅CDE棟・集会所建築主体工事）

## 8月臨時会（第6回）

#### || 全会一致で可決 ||

##### 委員会提出議案

・公立大学法人周南公立大学の開学に関する要望決議

## 9月定例会（第7回）

##### 条例改正など

##### 《条例の制定》

・周南市公立大学法人評価委員会条例

##### 条例改正など

##### 《人事案件》

・政治倫理審査会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦

##### 《条例の一部改正》

・休日夜間急病診療所条例、介護老人保健施設事業の設置等に関する条例

##### 《その他》

・工事請負契約の締結（多重無線システム改修工事）、動産の買入れ（小型動力ポンプ付積載車、高規格救急自動車）、玖西環境衛生組合の解散、玖西環境衛生組合の解散に伴う財産処分、玖西環境衛生組合の解散に伴う事務の承継に関する協議

##### 議員提出議案

・コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書



# 一般質問



## 要旨

一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長などの執行機関に考え方や方針を問うものです。ここでは、質問項目を一つに絞って掲載します。

## 新教育長の理念について

周南市民の会 友田 秀明



**問** 周南市の教育長は初代から田中克氏・坂本昌穂氏・村田正樹氏・中馬好行氏と、それぞれの個性を生かされた優れた教育長に恵まれてきた。5代目の新教育長の基本的な考えや最初に取り組みたいことは何か、所信を聞く。

**答** 私の教職生活の基礎を築いた場所であった周南市に恩返しをしたい。本市がこれから先、長きにわたって輝く町であり続けられるよう、未来を担う児童生徒を育成することで貢献したい。豊かな心の育成とコミュニティ・スクールの充実で、第2期教育大綱の着実な推進に取り組んでいく。

### その他の質問

- 本市のシティープロモーションについて

## 学校が全てではない

アクティブ 山本 真吾



**問** 本市の不登校児童生徒の数は。

**答** 令和2年度は中学生126名、小学生53名であった。

**問** GIGAスクール構想によって、自宅学習はこれまでと比べて良い変化が出てきたのではないかと考えるがどうか。

**答** 不登校児童生徒に学習支援を行う上でICTは大変有効である。タブレット端末を活用した家庭学習や授業参加、他者とのコミュニケーション、朝の会、終わりの会への参加をしている。今後さらに有効なアプリの導入や教職員のICT利用技術向上など、様々な支援を研究したい。

### その他の質問

- 学校への非接触型自動水栓の導入について

## 再発防止対策を 早急に講じるべきでは

周南市民の会 篠田裕二郎



**問** 令和3年7月9日に発生した大雨による冠水被害箇所の今後の対策はどうか。

**答** 基本的には根本的な整備が必要であると認識しているが、相当の時間と事業費を要するので、できるだけ早く効果が発現するような応急的、暫定的な措置を含めて今年度中に対策を検討していく。側溝や街渠ます等の排水施設の清掃は浸水対策に有効であるため、日頃の維持管理もしっかりと取り組む必要があると考えている。また、市が管理していない箇所等については当該管理者に再発防止も兼ねて強く要望していく。

### その他の質問

- 水素エネルギー活用に向けた取組について

## 荒天時における児童生徒への 安全確保体制は

公明党 遠藤 伸一



**問** 令和3年7月9日に発生した大雨のように、予測がつかない天候の変化が今後も起こりうる事が想定される。各学校で児童生徒の安全確保のために、荒天時の情報発信の判断基準の確認と、雨雲レーダーから危険度を読み取る講習会の開催など、校長会で議題に取り上げていただきたいと考えるがどうか。

**答** 今後も大雨、台風、積雪等での影響が想定される。引き続き自然災害を含めた危機管理体制を整備し、児童生徒の安全を確保するように校長会において共通理解を図ってまいりたい。

### その他の質問

- 消費生活について
- 空き家対策について

## 望ましい教育環境の 整備・充実について

周南市民の会 田中 昭



**問** 小中学校のトイレの洋式化について、その割合は。また国の補助がなくても職員トイレについても整備を進めるべきではないか。

**答** 今年度末で洋式化率は50%を超える。今後、洋式化を検討する学校は12校程度あり、国の財源等を確保しながら、順次計画を進めたい。

**問** 特別教室等の空調の整備状況は。また、教育委員会としてどのように考えているのか。

**答** 特別教室へのエアコンの設置は2割程度。児童生徒への必要性は十分認識している。今後の課題として検討していきたい。

### その他の質問

- 子ども・子育て支援について

## インターネット上の誹謗 中傷等への対策について

志高会 小林 正樹



**問** 被害者の心身に深い闇を落とすことであり、自裁や精神疾患発症などを未然に防ぐ観点からも、早急に取り組むべきでは。また、モラルを育むために、他県他市でもみられる条例制定についての考えは。

**答** インターネットリテラシー向上を目的に、令和2年度には計17回の研修会を開催し、約1,800人の参加を頂いた。大人も子どもも正しい知識やモラルを持つことが大事なことから、啓発活動や相談支援体制のさらなる充実にも引き続き取り組んでいく。条例制定の必要性については、国や他自治体の動向に注視する。

### その他の質問

- より充実した選挙の実施に向けて
- 乳幼児を取り巻く環境について

## 登下校時の児童生徒の 安全確保について

志高会 吉安 新太



**問** 児童生徒の通学路について、勝間小学校区には危険度が高い箇所があり、地域や保護者の方々から心配する声が上がっている。その都度、市に改善を要望しているが、現状なかなか改善されていない。予算等の問題もあると思うが、事故が起きてからでは遅く、子どもの命がかかっている。一つずつでも良いので、危険度の高い箇所から、ぜひとも改善をお願いしたいと考えるがどうか。

**答** 緊急性や施工時期等、総合的に判断し、安心安全な通学路となるように、しっかりと取り組んでいきたい。

### その他の質問

- 本市の水害、土砂災害対応について

## まず行政がテレワークを 推進すべきでは

志高会 佐々木照彦



**問** 庁内のテレワーク環境は整備されたが、その活用状況は。また、市内においてもサテライトオフィス等の事業を進めるべきではないか。

**答** 令和3年2月25日から在宅勤務型のテレワークを開始した。4月から7月の間に19人が46回活用した。職員が持つ不安等を解消してテレワークを推進していく。

テレワークオフィスの設置については、県が始めた事業も参考にしながら、庁舎内は難しいが、他の公共施設や廃校となった学校等を活用しながらの設置について研究・検討をしたい。

### その他の質問

- 農林水産物の販路拡大について
- 再犯防止について

## 健康寿命の延伸に向けた 市の取組について

公明党 小池 一正



**問** 糖尿病性腎症重症化予防事業の進捗状況は。

**答** 令和元年度に、新南陽市民病院で重症化予防プログラムの取組を開始した。令和2年度は18人に保健指導を行った。糖尿病が悪化して、腎症が進行し、人工透析が必要となれば、生活が制約されるなど重要な問題を引き起こす。こうした重症化リスクについて、多くの人に正しく理解していただき、食事や運動などの生活習慣の改善を薦めることが、市としての重要な施策と考えている。市民病院が、山口県をリードする取組を今後も進めて行きたい。

## ヤングケアラーへの 支援応援について

周南市民の会 小林 雄二



**問** 旧徳山市の時代から、親孝行に尽くした孝女阿米にちなみ他の模範となる児童生徒を表彰されており、子供たちにとっても大いに励みになっている。日常生活におけるヤングケアラーへの支援応援を積極的に行っていたきたいと思うがどうか。

**答** 家族のケアやお手伝いをする事自体は本当に素晴らしい行為であり、「ヤングケアラー＝悪いこと」というメッセージとならないよう留意が必要だ。福祉・介護・医療・教育等様々な分野と連携を図り、県とも協力し、支援に向けた実態把握につながる啓発活動の取組を進めて行く。

### その他の質問

- 全国学力・学習状況調査と学校教育について
- 新型コロナウイルス感染症とワクチン接種状況について

## スマートフォン講座の開催で デジタル弱者の支援を

公明党 江崎加代子



**問** デジタル化の進展に伴い、高齢者のスマートフォン保有率も高くなってきている。使い方講座の開催を検討してはどうか。

**答** 高齢者を対象としたスマートフォン講座については、現代的なニーズと考えている。学び・交流プラザや中須市民センターで開催した初心者向け講座は多くの申し込みがあり、好評を博した。これらの取組成果を各市民センターに情報提供したところであり、講座の開催を通して、高齢者をはじめとする市民が、デジタル活動の恩恵を享受できるように支援してまいりたい。

### その他の質問

- 生理の貧困について
- 学校生活について
- ヤングケアラーについて

## 鹿野地域の将来の行方は 北部観光プランの作成を

自由民主党周南 古谷 幸男



**問** 鹿野総合支所整備の進捗状況は。

**答** 9月15日には、基本設計実施設計業務の入札を行う。今後もアスベスト調査や地質調査の発注を進めて行く。山口銀行鹿野支店は総合支所新庁舎に出店の方向で検討されているとのことで決定すれば設計変更となる。

**問** 跡地の整備に係る観光プランはどのように進めているのか。夢プランとの関わりはどうか。住民との約束は最優先で取り組むべきではないか。

**答** 夢プランとの整合性を図り、3つの部会でさまざまな角度からまとめていく。

### その他の質問

- 徳山駅前地区第一種市街地再開発事業について

## 若者・女性活躍推進の さらなる取組を

公明党 金子 優子



**問** 若者・女性の人口流出に歯止めをかけるためにも、若者・女性への支援が必要と考える。①女性活躍推進を目標とした女性就労の展開は。②若者の移住定住促進の為、市営住宅の活用はできないか。

**答** ①ハローワークと連携し、求人情報や仕事内容を動画サイトで紹介する地域就労促進事業の実施や、創業に関する相談等ができる「まちラボヒンター」を開設した。②単身者でも入居できるよう見直しを行っているが、若者のニーズ等把握し、必要に応じて入居要件の緩和等検討する。

### その他の質問

- 通学路の安全確保について
- コロナ禍における福祉施策の取組は

## 市民の活躍を祝う懸垂幕の 設置について

アクティブ 土屋 晴巳



**問** 社会体育の振興発展を図るため、全国大会へ出場する個人や団体に対して祝い金を交付している。その大会において優勝した場合、その活躍を市民に広く周知し、皆で祝うために市役所本庁に懸垂幕の設置を提案するがどうか。

**答** 8月の高校総体において南陽工業高等学校弓道部や陸上の棒高跳び、徳山商工高等学校ハンドボール部が優勝し、コロナ禍の中、市民の皆様に元気や感動を与えることになった。今後は、全国大会で優勝した際には、市を挙げてお祝いするため、本庁舎敷地内に横断幕等を設置する。

### その他の質問

- 災害時等へのドローン導入について
- 新しい休日夜間急病診療所について

## 周南市初の登録記念物答申を 契機に清流通りの再整備を

参輝会 長嶺 敏昭



**問** 平成の名水百選の清流通りは整備から30年が経過し、かやぶき屋根の水車小屋、池に架かる橋・欄干、歩道インターロッキング、民家との仕切り板壁等が腐食欠損するなど老朽化が進み危険でもある。

この度の漢陽寺石庭の国の登録記念物への答申を契機に、清流通り一帯の再整備を過疎債を活用して予算化するべきと考えるがどうか。

**答** 清流通りを後世に引き継ぐため、適切に維持管理を行うと共に、総合支所跡地を鹿野地域の豊かな観光資源を生かした交流拠点として整備・検討する中で周辺部の魅力をより一層向上させていく。

### その他の質問

- 鹿野小中一貫教育について

## 教育長の考えを問う

志高会 福田 健吾



**問** 主体的な学びは自らの意志や判断で意欲的に取り組むことが重要である。課題や宿題に意義や意味をしっかりと共有する必要がある。記憶力が高い＝学力が高いと言われた時代から大きく社会が変化し、考える力を重視するようになった。問題を解けることと理解することの違いを考えねばならないと考えるが、このことをどう捉えているか。

**答** たくさんの知識や技能を持つことは重要であるが、それを活用する力を身に付けること、発展的な学習につなげることが今の時代の教育には重要なことであると思う。

## 新型コロナウイルス感染症 対策・PCR検査の拡充を

日本共産党 魚永 智行



**問** PCR検査について、町なかの薬局で、無料で検査キットを配布する体制をつくってはどうか。

**答** 県が実施するPCR検査にしっかり連携しながら、感染拡大防止に努めていく。

**問** 小中学校の新学期開始前後に、全児童を対象としたPCR検査を実施してはどうか。

**答** 国において公立の幼稚園や小中学校を対象に抗原検査キットの配布を予定しており、本市でも小中学校での抗原検査キットの活用が可能になり次第、抗原検査やPCR検査を有効に活用した感染防止策に適切に取り組んでいく。

### その他の質問

- 本市の文書編集保存規程の運用について
- 市民の暮らしを支える市政を進めるために
- 公立学校教員への1年単位の変形労働時間制の導入について

## 災害に対する科学的な知見に基づいた対策について

自由民主党周南 田村 勇一



**問** 有事の際に、命を守るためには最新の情報と的確な指示、指導が必要と考えるが見解を問う。

**答** 防災行政無線やコミュニティFMの電波を活用した防災ラジオ、市内の小中学校へのIP告知システムの整備のほか、自主防災組織等との情報共有を目的とした簡易無線の整備、実況監視用の河川監視カメラや雨量計を設置し、ホームページで公開している。また、既存のしゅうなんメールサービスで気象情報や災害緊急時の配信など、今後もあらゆる手段を駆使し、万全を期す。

### その他の質問

- 林業政策について

## 高齢者バス・タクシー運賃 助成事業受付会場について

日本共産党 渡辺 君枝



**問** 10月からのバス・タクシー運賃助成事業の開始に伴い、申請会場が本庁、各総合支所、各支所のほかに一部の市民センターが会場になっている。会場になっていない市民センターでも申請できるようにならないか。

**答** 特に臨時に設けた市民センターは人口規模の大きいところで、混雑等を避けるのが目的である。住まいの地域に限らず、受付会場ではどこでも交付できる体制にしている。代理の方でも簡単に申請できるように、申請者本人の身分証明書になるもの一つを借りてきてもらったら申請できる。

### その他の質問

- コロナ禍に追い打ちをかける利用者への負担増について
- ダムに頼らない治山について
- 高齢者の補聴器の購入及び補聴器電池代の補助について

## 大雨・豪雨対策について

アクティブ 細田 憲司



**問** 今年7月大雨で遠石地区が床上浸水したが、近年の豪雨を考えれば何か根本的な対策が必要では。排水管を大きく取水口を増やし、途中貯水池や調整池等を造ってはどうか。

**答** 長い時間と大きな事業費がかかるため、まず早く効果が期待できる応急的、暫定的な措置を検討していきたい。

**問** 既に被害の出ている地域なので市民の安全のため、一刻も早く排水管等を大幅な整備をするべきではないのか。

**答** 早急に対応できることから職員に指示している。今年度中には工事ができるようにしていきたい。

### その他の質問

- 市内の建設発生土の処分状況について
- 通学路危険箇所における児童生徒の安全確保について

## 子供たちへの新型コロナウイルス ワクチン接種促進を

アクティブ 藤井 康弘



**問** 新型コロナウイルスデルタ株については、ワクチンを接種しても、ブレークスルー感染の可能性があり、他の人に感染させるリスクは低減できないという※CDCの見解を踏まえると、大人のワクチン接種を進めて集団免疫を獲得することによって、子供たちを感染から守るという戦略が成り立たなくなる。そこで、ワクチンに対する誤った情報に惑わされないように正しい情報を保護者に提供して、子どもたちへのワクチン接種の促進を図るべきではないか。

**答** 子どもたちへの接種普及へ正しい情報の発信に努める。

### その他の質問

- 持続可能な新型コロナウイルス感染予防策について
- ※CDC…米国疾病予防管理センター

## 家族の介護などをするヤング ケアラーの実態調査を

日本共産党 中村富美子



**問** 幼いきょうだいの世話や病気、障害のある家族の介護をしている子供のヤングケアラーが、中学校・高校の1クラスに約2人の割合でいるという国の調査結果が発表された。実態調査を行い、支援につなげるべきではないか。

**答** 教育委員会では、支援を必要とするケースがあれば関係機関と連携し支援に取り組んでいる。国の対応を注視し、適切に対応する。

**問** 国の指示待ちでなく、周南市として特化した調査を行うべきではないか。

**答** 基本的にはしないという方向で考えている。

### その他の質問

- 永源山公園の芝生管理について
- SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた市の取組について

## 道の駅ソレーネ周南の「防災道の駅」の指定について

周南市民の会 島津 幸男



**問** 「防災道の駅」とは。また、現在のソレーネ周南の問題点は。

**答** 県内唯一の指定で、今後県の防災の中心として、自衛隊車両の集結等、広域的な防災活動拠点となる。休日の駐車場不足も認識しており、県と連携して国へ要望していく。

**問** ソレーネ周南の進化と独自性をいかに図るのか。例えば、世界最大のホテルチェーン「マリオット」が、既に他県道の駅とホテルの併設を進めているが、連携は考えられないか。

**答** 六次産業化あるいは脱炭素、デジタル化等進化させる方向で地元の意見を入れて考えていく。

### その他の質問

- 指定管理者制度に対する市の考え方について

# 徳山大学公立化に関する議案を可決！ 新しい大学名は「周南公立大学」

第6回臨時会（8月17～18日）で徳山大学公立化にかかる4件の議案を審議し、いずれも賛成多数で可決されました。

## 【企画総務委員会での審査】

- 問 不測の事態が生じた場合の市財政からの負担の有無について、市の考え方は。
- 答 運営当初に発生する大学収支のマイナス分は起債などを活用し、その後黒字となった分を施設整備の更新費用に充てる。現段階では市財政からの負担は想定していない。
- 問 市長の人口減少の傾向を鈍化させたいとの考えなどから、大学を生かしたまちづくりを進めるのであれば、本市の将来的な人口シミュレーションを見直すくらいの強い意志を持って公立化に取り組むべきではないのか。
- 答 毎年、多くの若者が増えることは、本市にとっても非常に大きなことと考えており、将来人口の推計の見直しも検討したい。
- 問 副理事長以下の役員は、どのような方を想定しているか。
- 答 他大学の例では、副理事長については県や市の元職員、理事については副学長・事務局長・地元商工会議所の会頭、監事については弁護士・税理士・公認会計士が考えられる。
- 問 今後、市が条例で設置する評価委員会の委員は、どのような方を想定しているか。
- 答 教育研究関係として他大学の先生、経済界として商工会や各企業からなどが考えられる。
- 問 このたび設置しようとしている周南公立大学整備等基金条例の目的に、「運営及び施設整備に要する費用に充てる」とある。一つの基金条例に、用途の異なる費用が混在することに懸念があるが、どうか。
- 答 一旦基金条例に積み立てるが、運営に対する寄附があった場合は、施設整備とは別に、目的に見合った歳出を組むこととし、管理はしっかり行う。

## 【委員会での討論】

### 賛成討論

- ・公立化を新たなスタートとして、本市のポテンシャルと若者の力の融合に期待する。
- ・財政面は一般会計からの支出及び市民サービスの低下はないと理解しており、少子化の時代だからこそ若者の定着を図る施策は必要である。有識者検討会議から提言されたリスクマネジメントを認識し、地域貢献型大学としての強みを生かし、持続可能なまちづくりへの寄与を期待する。
- ・一部の市民の方から問題提起されたことは事実だが、市民からの大きな期待感が町を元気づけることに期待する。
- ・公立化して、人材育成をはじめ、社会貢献、地域貢献がなされることを期待する。

### 反対討論

- ・本市単独の設置だが、周南地域全体での公立化を改めて協議することを求める。また、市民により周南市『徳山大学公立化のより良いあり方検討委員会』設置条例の制定を求める活動がされていることから、令和4年4月1日の公立大学開設にこだわらず市民の声をしっかり聴くべきである。
- ・住民説明会も参加し、パブリックコメントも読んだが、広域での運営や有識者検討会議で指摘された覚悟など、様々な点で疑問が残る。また、開学の時期を明らかにして住民説明会をすべきだったと考える。

委員会審査結果 賛成多数で可決

可決後、委員から附帯決議案が提出され、採決の結果、全会一致で附帯決議を付すことに決定しました。

※附帯決議の内容は下記の委員会提出議案と同様です。

### 【本会議での討論】

賛成・反対の立場から討論がありました。

## 行政報告の概要

9月17日の本会議において、以下の内容について、市から報告を受けました。

# 国家賠償法に基づく公文書開示に係る 損害賠償請求訴訟の判決への対応について

## ◆ 執行部の説明（要旨） ◆

本市が平成29年に行った、4件の公文書の全部不開示の決定に関して、開示請求者から、それぞれ160万円、合計640万円の損害賠償を請求された訴訟について、令和3年8月27日に山口地方裁判所周南支部より判決が言い渡された。この判決では、第1事件と第2事件について、それぞれ、損害賠償が1万円と、原告の訴訟費用の10分の1、第3事件と第4事件については、原告の訴訟費用の10分の1の支払いが命じられた。

9月10日に、控訴期限を迎えたが、市としては、控訴は行わず判決に従うこととした。

まず、第1事件と第2事件の概要だが、平成29年1月27日以前及び平成29年1月31日以降に開催された周南ツーリズム協議会の総会等に出席した際の市職員の復命書及びその際に受領した資料について、公文書開示請求を受け、当初は、全部を不開示とする決定を行った。その後、この全部不開示の決定に対して、審査請求が提出され、周南市情報公開・個人情報保護審査会からの答申を踏まえて、部分開示に変更決定を行った。

このことを受けて、開示請求者より、当初から情報の開示を行うべきところを、全部を不開示決定した市の処分は違法行為であるとして、損害賠償を請求された。

次に、第1事件と第2事件の判決概要だが、当初、全部を不開示とした判断は、職務上の注意義務違反であり、これにより原告の権利・利害を侵害し、精神的苦痛を与えたとされた。

次に、第1事件と第2事件の判決への対応として、全部を不開示とした公文書には、不開示情報が含まれるものの、既に公表済みの情報をはじめ、イベントのチラシなど、明らかに開示すべき情報があった。

しかしながら、周南ツーリズム協議会から承諾が得られなかったことを理由に、全部不開示の決定を行ったところであり、このたびの判決を、真摯に受け止め、従うこととした。

次に、第3事件の概要だが、第1事件において、全部不開示とした理由を周南ツーリズム協議会から承諾が得られなかったこととしており、それを証明する当協議会へ意見照会したという主張に関する文書の公文書開示請求に対し、文書が存在しないため、全部不開示とした。

このため、本来、意見照会は、文書で通知し回答を求めるべきところを、口頭で行い、かつ、聴取した意見を文書で作成・保存しなかった事務手続等は違法行為であるとして、損害賠償を請求された。

次に、第4事件の概要だが、周南ツーリズム協議会が市からの改善指示に対して口頭説明した内容が分かる記録の公文書開示請求に対し、文書が存在しないため、全部不開示とした。

このため、本来、文書によるべきところを、口頭で説明を受け、かつ、聴取した内容を文書で作成・保存しなかった事務手続等は、違法行為であるとして損害賠償を請求された。

次に、第3事件と第4事件の判決について、このたびの判決では、棄却はされているが、文書の取扱いに関し、不適切な事務処理があったことを厳粛に受け止めている。

最後に、再発防止に向けた対応について、このたびの事態を招いた原因は情報公開条例等について、解釈の誤りや理解不足に加えて、当時は、公文書を保有する所管部署の判断だけで、開示決定処分を行う体制となっており、市の組織的な対応が図れていなかったことであると考えている。

このため、再発防止策として、このたびの事件に関する審査請求の結果を受けて、令和元年度より、情報公開に係る法令解説情報を全庁で閲覧できる情報サービスの導入や、文書事務の適切な執行について全庁に周知するとともに、令和2年度からは、情報公開の開示決定処分に情報公開条例統括課が関わる体制として組織改編を行っている。

## ◆ 主な質疑 ◆

- 問 第3事件と第4事件について、法的には合法的な処理だったと思うがどうか。
- 答 情報公開条例においてはその通りだが、市の文書取扱規程として、全ての事務執行については、文書で作成・保存することを原則としているため、その部分について不適切だった。
- 問 情報公開について、各担当部署で判断していたとのこと、今後は変更するとのことだが、どういう手続を踏んでいくのか。

- 答 情報公開の手続を取る体制の強化を図る。情報公開条例統括課である法務コンプライアンス課が、全庁統一的な処分の確保のため、法的サポートを行っていく。
- 問 今回の不開示決定だが、どのように対応したのか。
- 答 文書をすべて黒塗りにして開示したのではなく、開示しないということを決めた。
- 問 不開示決定だが、決裁者は誰か。
- 答 部長決裁で処理した。

## 公立大学開学に関する 委員会提出議案全会一致で可決！

企画総務委員会から、委員会提出議案が提出され、本会議において、全会一致で可決されました。議案の内容は下記のとおりです。

### 公立大学法人周南公立大学の開学に関する要望決議

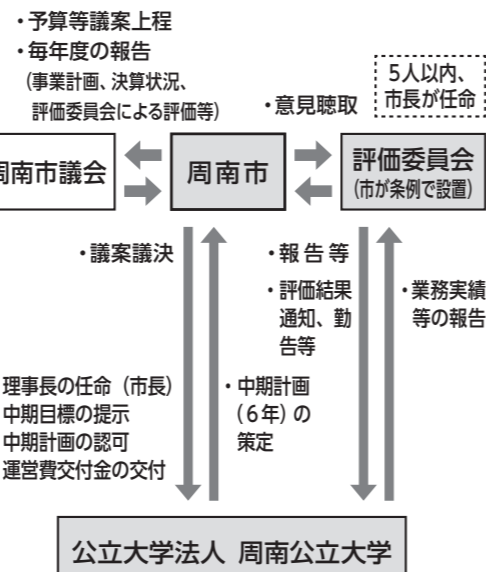
地域市民に開かれた大学として、積極的な情報開示及び健全運営に努めること。また、周南市まちづくり総合計画後期基本計画にも徳山大学の公立化は、「活力のある人材の育成や若者の一層の地域密着を図るため」と示されているように、大学を活かしたまちづくりを積極的に推進し、人口の減少に歯止めをかける施策を進め、周南公立大学が周南地域の知の拠点としてさらに飛躍し、地域の発展に貢献することを強く求める。

以上、決議する。

令和3年8月18日

山口県 周南市議会

## 今後の大学と市議会等 との関わり方（概要版）



# 委員会レポート

常任委員会が調査を行ったものや特別委員会での協議内容を報告します！

## 徳山大学公立化に関する調査特別委員会

### 看護学科棟の整備について

本件について、7月5日、7月21日、8月6日に委員会を開催し、執行部から報告を受けました。

#### ◆企画部 企画課の説明(要旨)◆

看護学科棟の整備は、学園台キャンパスの中央部に位置する1・2・3号館を解体し、同じ場所に校舎を新築するもので、主には看護学科に関わる教室等を整備し、一部に全学部共用の施設を整備する予定である。延べ床面積は約6,000平方メートル、建物の構造・階数はプロポーザルでの提案によるものとし、事業費は予算ベースで25億7,310万円、工事期間は契約締結の日から令和6年1月31日までを予定している。

看護学科棟の整備は当初既存施設の改修を考えていたため公立化後に着手する予定だったが、看護学科のカリキュラム等を検討する中、新設する必要があると出てきた。新設する場合、2年以上の期間が必要となるため、公立化の議決後、公立化前ではあるが、大学で整備に着手する。

業者選定は、市が行う公共工事に準じて進めることを基本とし、大学において公募型プロポーザルを行い、設計・施工一括発注方式により、既存校舎の解体も含めて施設整備を行い、公立化と同時に、市に契約を引き継ぐ方法で進める。

契約の引継ぎに当たっては、新校舎等の整備に係る30億円の資金を徳山大学から寄附を受ける。この寄附については、議会の議決を求めるとともに、別途市と大学間で締結する協定書にも記載する。

市が契約を引き継いだ後、実施設計が終了し、工事の請負金額が確定すれば、議会に工事請負契約の議案を提出することを考えている。

問 新学部設置の申請に当たり、新校舎の整備が必要なのか。

答 申請に当たっては建物の平面図や教員名簿が必要で、文部科学省による検査もあると大学側から聞いている。

問 この整備は、徳山看護専門学校を有する徳山医師会の意志を確認した上で進めているのか。また、県東部地区の他の看護専門学校にも影響があるのではないのか。

答 これまでも、大学・市・医師会での協議を行っているが、現在、医師会からは、市としての公立化の方向性が決まっていない段階でのコメントは難しいと言われている。しかしながら、事務局レベルの協議では、医師会としては今後も協議に応じるとともに、協力できることはしたいとの話を頂

ている。市長の方針が出されたら、県内の専門学校に対しても協議、現状報告することを考えていきたい。

問 業者選定に市はどう関わるのか。

答 選定するための委員会等に市の職員も加わりたいと考えている。

問 地元業者が参加できるような配慮を考えているのか。

答 例えば、評価項目に地元業者の優先参入項目を入れること、市で同規模の工事の場合は共同企業体を組むようにしていることなどを大学に伝える。

問 設計の結果、事業費が予算額を超える可能性もあるのか。

答 不測の事態が発生する可能性もあるが、現時点ではこの予算額を上限に行ってもらおう。

## 徳山大学公立化に関する調査特別委員会

### サテライトキャンパスの方向性について

8月6日に開催した委員会で、執行部から報告を受けました。

#### ◆企画部 企画課の説明(要旨)◆

大学に対し、※サテライトキャンパスについて確認したところ、次のとおり報告があった。

まず、サテライトキャンパスでの実施を考えている事業は、ゼミなど現校舎で行っている授業の一部の実施、産学連携としての地域共創センターの移転、市民のリカレント講座の場とのことであった。

次に、コスト面は、再開発事業で建設される駅前棟の3階及び6階フロアに設置する場合、ランニングコストとして年間約3,000万円、イニシャルコストとしてフロアの電気設備など内装工事等が必要とのことであった。

大学が駅前棟にサテライトキャンパスを開設するとの報道があったが、市としては、大学とも協議を行った結果、中心市街地におけるサテライトキャンパスの設置については、教育内容の充実、企業との連携、開かれた大学づくりに一定の効果は期待できると認識しているものの、費用対効果や初期の大学運営の財政状況、コスト面を考えると、現段階で駅前棟に入居することは難しいと考えている。

問 今後、検討することはあり得るのか。

答 市としては、本年7月に策定した「大学を生かしたまちづくりの方向性—徳山大学公立化についての市の考え方—」に記載したとおり、中心市街地へのキャンパス整備の有効性は認識しており、将来的に検討すべきことと考えている。今

後検討することはあり得るが、現時点では具体的な話に至っていない。

※サテライトキャンパス…授業の一部を校舎以外の場所で行うために設置するキャンパス

## 企画総務委員会

### ボートレース事業の経営について

8月6日に開催した委員会で、執行部から報告を受けました。

#### ◆ボートレース事業局の説明(要旨)◆

令和2年度主催事業は、4年連続で最高売上げを更新し、10年連続で黒字決算となる見込みである。また、市財政への貢献として、平成24年度から令和2年度の9年間で28億7,000万円を一般会計に繰り出している。

主催事業の売上額は835億円で、前年度比193億円、30.2%の増となり、その要因は、全国的なボートレース業界の好調、特にボートレース徳山においては電話投票の売上げが前年度比249億円、56.9%の大幅増となったこと、過去最多となる年間204日のレースを全て開催できたこと等と考えている。

協力他場の売上げは121億円で、前年度比50億円、29.5%の減となり、その要因は、休館や入場者数の制限、コロナ禍の影響と考えている。

今後の方針として、①SGやプレミアムGI等のグレードレースの誘致・開催による売上げ向上及び認知度拡大、②レースの安全確実な開催と電話投票を中心とした売上向上施策の実施、③地域に開かれた親しみの持てるボートレース場を目指す取組として東スタンドの地域開放の検討、④ボートレースのイメージアップ及び若者や子ども連れなどファン層に応じた来場促進、⑤計画的な施設設備等の更新及び不測事態に備えた建設改良積立金の積み立て、⑥長期間のレース中止に備えた1年間の固定費相当額である25億円の積み立てを掲げている。

業界の方針としてのモーニングレース開催日数拡大や施設の老朽化などの課題に対応しつつ、現在の売上げが好調な状況をできるだけ維持し、さらなる収益向上に取り組み、市財政への貢献を目指したい。

問 東スタンドの地域開放の具体的なイメージは。

答 中学校の吹奏楽部の練習場、幼稚園・保育園の発表会、地域の活動の発表や練習の場としての活用を考えている。

1年間程度の試行を行い、実際に使用する方の意見を伺った上で利用していただけたら、進めていきたい。

## 教育福祉委員会

### 富田東児童館の転用について

9月8日に開催した委員会で、執行部から報告を受けました。

#### ◆子ども・福祉部 次世代支援課の説明(要旨)◆

現在、「周南市子ども関連施設施設分類別計画」における施設の方向性として、児童館については、事業は廃止し、建物は解体もしくは転用する方針として取組を進めている。

本市には5つの児童館があったが、現在、富田東児童館の1館のみ残っている状況である。

富田東児童館の現状と課題だが、児童館利用者の9割が児童クラブ利用者であり、利用割合が非常に多くなっている。

児童クラブは、定員120人のうち、80人を富田東児童館で受け入れているため、児童クラブ室と遊戯室・集客室を合わせた部分を活用している。また、夏季休業中など利用者の多い時期は、ほぼ全館を使っている。

今後の方向性だが、これらの現状を踏まえ、令和4年度から富田東児童館を児童クラブ専用施設として活用することとした。

児童クラブ単独施設とすることで、児童館としての利用ができなくなるため、各種講座について、講師の方と相談しながら、継続の希望があれば他の施設の利用について調整しているところである。

今後も保護者や地域の関係者の方々への説明をしっかりと行いながら、転用を進めていきたいと考えている。

問 現在は児童館及び校舎の一部で児童クラブが活動しているが、将来的に児童の人数が少なくなった場合、活動場所は現在の児童館のみになるのか。

答 1か所にまとめられることが理想だと思うが、児童数に大きな減少傾向が見られないので、現状の運用方法で続けていきたいと考えている。

問 児童館機能は、子育て支援の一環として、別の施設で継続的に展開していくということでしょうか。

答 子どもを育て、支援していくということは、さまざまな形で展開していかなければならないと考えている。





7月13日に開催した委員会で、執行部から報告を受けました。

◆ 建設部 道路課の説明 (要旨) ◆

本事業は老朽化した古川跨線橋を架け替えるもので、昨年6月30日の事業開始から約1年が経過したが、代替通学路など周辺の生活道路の安全確保や交通渋滞の緩和を図る対策を行ってきたため、周辺交通に大きな混乱はなく、事業開始後に行った交通量調査においても交通量や渋滞長の大幅な増加は確認されていない。

全体のスケジュールとして、令和3年度はJR西日本による鋼橋の撤去、その後、JR貨物によるコンクリート橋の撤去を実施し、令和5年度には撤去作業が全て完了する予定である。令和5年度から始まる橋りょうなどの新設に約5年間を要するため、事業完了は令和10年度を見込んでいる。

今後線路上空の撤去作業を開始するに当たり、円滑な事業推進に向けて、周南市・JR西日本・JR貨物の3者は、コロナ禍の中でもウェブ会議を活用するなど、綿密に協議を重ねている。その中で、夜間のJR貨物のダイヤを調整して作業間合いを確保することなど、工期の短縮にもつなげる具体的な作業効率向上案が提案されているところである。

今後は、安全管理や工程管理がより重要となるので、3者が緊密に連携・調整するとともに、工事による影響の大きい近隣住民に十分配慮しながら、円滑な事業推進に努めたい。

問 工事の振動により、近隣の家屋の壁にひびが入るなど影響が出ていないか、家屋調査は行っているのか。

答 工事開始前に線路北側と南側近接の家屋調査を行っており、工事が完了したら再度家屋調査を行い、工事の影響を受けていないか確認する予定である。

市議会からのお知らせ

■ 議場での傍聴時における新型コロナウイルス感染予防対策について

議場内の換気や席数の制限など、市議会で取り組んでいる感染予防対策については、日々状況が変わることから随時ホームページでお知らせしています。



周南市議会  
トップページ



出入口の開放



傍聴席数の制限

■ インターネット議会中継

本会議の生中継と録画放送をインターネットで配信しています。

録画放送は、本会議の3~4日後から視聴できます。

※スマートフォンからも視聴できます。



インターネット  
議会中継

■ ケーブルテレビ議会中継

本会議の様子を生中継します。

一般質問については、CCS・メディアリンク・Kビジョンで再放送を行います。(再々放送は、CCS・メディアリンクで放映)

委員会の様子を録画放映します。

2時間程度にまとめた番組を録画放送します。



ケーブルテレビ  
放送日程

■ 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	11/29	11/30 本会議 (初日)	12/1	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4
5	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8 常任委員会	9 予算決算 委員会	10 予算決算 委員会	11
12	13	14	15	16	17 本会議 (最終日)	18

※本会議・委員会は、午前9時30分から開催します。

(土・日は休会です)

※日程の変更は、市議会ホームページでお知らせします。

	インターネット	ケーブルテレビ
本会議 (生中継)	○	○
本会議 (録画放送)	○	△ (一般質問のみ再放送)
委員会 (生中継)	放送はありません	
委員会 (要約放送)	放送はありません	○

■ 議会だよりのリニューアル

今号より左開きで、全ページ横書きになりました。今後とも市民の皆様へ親しみやすい議会だよりになるよう努めてまいります。